

ひだか 議会だより

HIDAKA GIKAI DAYORI

第163号

平成28年8月1日



新日高村立図書館落成「テープカット」

行政報告	2～5P
審議したこと・決まったこと	6～7P
請願・陳情・議員提出議案	7P
私の意思表示	8P
委員会活動	9～10P
一般質問に5氏が立つ	11～15P
議会日誌	16P
岡山県町村議会議長会来村	17P

行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

「3期目に向けて」

再任にあたりひとことご挨拶を申し上げます。

このたび村長選挙におきまして、今後4年間の村政運営を託されました。その責任の重大さに身の引き締まる思いですが、村の振興発展に全力で取り組んでいきますので、よろしくお願ひ申し上げます。

村政執行にあたっては、議会の皆様のご理解なくして施策の執行はできないところであり、皆様方のご協力、ご指導、ご鞭撻を重ねてお願い申し上げます。

さて、この4年間、財政の健全化を図りながら「安全で安心して心豊かに暮ら

せる村づくり」を目指し取り組んできました。

光ケーブル網を全村に配信することにより、都会なみのインターネット環境を整備でき、また、各家庭へのIP告知端末の設置により、緊急地震速報や気象警報等の一斉配信、一人暮らしの高齢者や障害者等の要援護者の見守りも可能となった。

日高の未来である子どもたちの安全を守る学校の耐震化も、日高中学校の改築をはじめすべて完了し、子育てへの支援策としては、中学校までの医療費無料化も実現することができ、7月には村民待望の人づくりや知の拠点、図書館もオープンする。

また、懸案の日下橋の交差点改良も順調に進み、歩行者等の安全度が向上します。国道33号高知西バイパスも数年後には波川まで完成し、高知市から16km、意

外と近い村がさらに近くなる。これらを生かしながらか、定住人口の拡大を図るため、まず交流人口拡大への取り組みとして、オムライス街道のスタンプリーや村の駅、屋形船の開業などにより、一定村の知名度のアップが果たされたのではないかと考えている。

これらのにぎわいから、交流人口から定住人口の拡大へ向けた取り組みを検討していた矢先に一昨年の水害で、絶望の淵に立たされましたが、多くの方々のご尽力により、新たな放水路の整備等が始まろうとしている。

3期目へ向けては、村民の安全なくして村の発展はありえないので、まず喫緊の課題である国による新たな放水路の整備や、県が行う河川改修、村が実施する著しい低地部の浸水対策など、治水対策の早期完成へ向けて全力で取り組みをすすめる。

そして、必ず来るといわれている南海トラフ地震へ向けて、庁舎などの公共施

設や激しい揺れでも、生命が守られ避難のできる住宅の耐震化の促進など、住民の安全度を高める取り組みを積極的に展開していく。

少子高齢人口減少などの課題に対しては、地方創生の取り組みとして、オムライス街道をさらに進化させ、トマトなどを生かした食、健康、雇用を促進する「ひだかまるごとイタリア

ンプロジェクト」に取り組みをする。仁淀川の屋形船、調整池のフットパス、村内巡回のサイクリングなどによる交流人口の拡大や、地元農産品を活用する農業クラスター計画による新たな加工品の開発や、雇用の場を増やすことにより定住人口の拡大を図る。また、

世界一薄い和紙や環境にやさしい紙風船などの村の強みである紙産業とのコラボレーションによって、地域で経済が回る仕組みづくりを目指し、村の経済の活性化に取り組みをする。

高知市から16km、意外と近いのに自然が豊か、JRRも通っていて便利などこ

ろ、福祉のひだかの再認識など、住民の満足度を高め、「村民に住んでよかった」と言ってもらえる村、「村外の人から住んでみたい」と言ってもらえる村づくりに取り組んでいくことにより、地方創生につなげていきたいと考えている。皆様方のご支援ご協力をよろしくお願ひしたい。

「職員派遣」

4月に発生しました熊本地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、行方不明者の一日も早い発見を願うところです。被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、早期の復旧復興が果たされますようご祈念申し上げます。村の対応は今議会の補正予算に計上していますが、見舞金として100万円を贈りたいと思います。自治会長会では、各自治会へ寄付のお願いをしていますとお聞きしています。職員の方々にも協力をお願いしており、ま

とまり次第、県を通じて被災地へお送りしたいと考えている。職員の派遣については、町村会や県の情報をもとに待機をしていたところ、県から保健師の派遣要請があり、去る5月10日から5月16日の間、熊本県の南阿蘇村へ派遣をした。熊本地震の教訓は、今後各方面から分析もされることだと思うので、今後の災害対応に生かしていきたいと考えている。

新放水路トンネルのルート(案)

国土交通省が進めている新放水路トンネルのルート(案)について、日高村及び、いの町大内地区での説明会を開催した。今後、必要な手続きを踏んだ上で、6月下旬にはルート発表を行うとの報告を受けている。これからは詳細な設計に入ることから、今以上に国・県・村が協力し、関係する地域住民の皆さんへの丁寧な説明により、事業への協力を求めていかなければならぬ

いと考える。

公営住宅の入居者決定

エコ振興策で取り組んでいた、公営住宅建て替え事業の福良住宅2棟の入居者が決定した。内訳は村外の方1世帯と村内の方1世帯となっている。いずれもご夫婦と1歳のお子様の子育て世帯となっている。



福良住宅

仁淀川中央清掃事務組合解散手続き完了

仁淀川中央清掃事務組合については、平成28年3月22日にいの町との間で、組合の解散に関する協議書及び組合の解散に伴う財産処分に関する協議書を締結し、同日付で高知県知事に対し組合の解散届出書を提出し、解散の手続きが完了した。3月31日には、基金等の財産処分が行われ、予算に基づき基金への積立を行っている。4月以降の組合に係る収入及び支出については、事務を継承した村の予算で対応し、必要となった基金積み立てや基金繰り入れについては、今議会の補正予算に計上している。なお、平成27年度の組合決算は解散した3月31日をもって打ち切り決算となり、村の監査委員による監査を受け、今議会に決算の認定議案を上程している。また、清掃組合工場解体工事については、6月1日に入札を行い今議会に請負契

約締結議案を上程している。

「村の駅ひだか」目標達成

平成27年度の村の駅ひだかの直販所売上総額は、1億9千717万5千168円で、レジを通過した来客数は19万2千515人で、1日の平均では売上額54万3千182円、来客数530人、客単価は1千240円であった。村の駅ひだかの平成27年度の目標が売上総額1億6千万円、来客数15万人であったので、目標を達成することができました。この大きな要因としては、2年目を迎えたオムライス街道が2年間で10万食と引き続き好調であったことや、特産のトマトやイチゴをはじめとする商品の充実、土・日・祝日などでの店頭販売の実施、また、3月5日に延伸した高知西バイパスとマスコミ報道などによる

ものと思われる。一方、課題もあり、5月連休の新緑祭り開催時の店頭での聞き取りアンケート調査では、売り場の通路が狭いとか、オムライス街道の店が分かりにくいとか、店内が狭くて食事をあきらめたといった内容もあった。また、村の駅が、今後ピザの販売への取り組みも予定していることから、今後こういったことへの対応についての検討も進めていきたいと考えている。



村の駅ひだか

オムライス街道

2周年

2年目のオムライス街道の状況は、11店舗で6万6千200食を販売し、2年間の合計販売数では10万食を突破、総務省経済効果算出計算式によると経済効果は2億円を突破した。また、第2弾スタンプラリーでは、290人の方がスタンプラリーの特典を利用された。なかでも、村の駅ひだかでの買い物の特典利用者が147人と約半数にのぼり、オムライス街道の店舗だけでなく、幅広く農・商の活性化につながることができたように思う。

平成28年度の取り組みとしては、第3弾スタンプラリーを6月13日より昨年同様11店舗でスタートする。今年のテーマは「トマトの神様」と題して、各店それぞれの神様像と逸話を展示し、集客と村内各店舗の周遊を図る予定をしている。また、村内企業とのコラボや県外のオムライス等

にちなんだ活動との連携により、オムライスを軸にさらなる1次・2次・3次のネットワークを築きあげ、地域活性化につなげていきたいと考える。

粗大ごみの収集

4月に「日高村粗大ごみ福祉収集実施要綱」を制定し、6月の粗大ごみ収集から取り組みを行っている。自己により排出、運搬することが身体的に困難で、かつ身近な人等の協力を得られない高齢者、障害者等を対象とし、希望者はあらかじめ電話、または直接産業環境課に申し込み、申請書に必要事項を記入し提出いただく、村で内容等を確認の上、対象となれば村の委託業者により玄関先から収集、運搬する内容である。

4月に「日高村粗大ごみ福祉収集実施要綱」を制定し、6月の粗大ごみ収集から取り組みを行っている。自己により排出、運搬することが身体的に困難で、かつ身近な人等の協力を得られない高齢者、障害者等を対象とし、希望者はあらかじめ電話、または直接産業環境課に申し込み、申請書に必要事項を記入し提出いただく、村で内容等を確認の上、対象となれば村の委託業者により玄関先から収集、運搬する内容である。

養護老人ホーム

「静幸苑」開所

3月15日に能津本村に聴覚障害者のための養護老人ホーム「静幸苑」が開所さ

れた。現在ある視覚障害者のホームと合わせ、弱者のための施設が村内に開設されたことは大変ありがたく、また障害を持たれていく方々にとつても、心強いことだと思ふ。学校や地域

の方々とのさらなる交流の輪が広がり、障害者への理解がさらに深まっていけるように祈念申し上げる。



養護老人ホーム「静幸苑」

チャリティー

ゴルフコンペ

5月24日にグリーンフィールドゴルフクラブが開場20周年を迎え「記念チャリティーゴルフコンペ」が開催され、30万円を新しい図書館の図書購入費に寄付をいただいた。大変ありがとうございました。将来の村づくりを実践していく人づくりのために有効に活用させていただきます。

新日高村立図書館が完成しました

待望の新日高村立図書館が完成しました。建設に際し、ご理解ご協力をいただきました地域住民の皆様と関係各位にあらためてお礼を申し上げます。開館を記念し、7月16日、午前9時30分から神事を行いその後、午前11時よりオープニングセレモニーを予定している。セレモニーでは、保育園児及び児童生徒による図書館への思いを書いた「紙

風船飛ばし」や、5月中、村内で広報させていただいた新図書館の「愛称」発表及び表彰等、その他イベントを計画している。また午後2時までは、新図書館の見学時間として開放し、開館記念として図書館登録者へ図書貸出バックの配布も行う予定をしている。

ぜひご周知をいただき、ご参加をお願い申し上げます。翌17日より図書館を開館し、村民の皆様の身近な新図書館として、ご利用いただけるよう運営を行っていきたくと考えており、今後ともよろしくお願い申し上げます。

移動高知新聞

ふれあい高知

11月8日(火)から12日(土)の期間に、株式会社高知新聞社が主催の「移動高知新聞ふれあい高知」が日高村で開催される予定となっている。ふれあい高知については、日高村関連の記事の特集やイベントの開催などにより、日高村の存

在を外部にPRできる機会となることから、村としても協力し盛り上げていく。具体的には、現在ふれあい高知の期間中に実施予定のイベントについて、住民の意見等もお聞きしたうえで検討していくため、6月8日に検討会を開催した。今後、数回に分けて検討会を実施し、決定していく予定となっている。

平成27年度

決算見込み

平成27年度決算見込みは、実質収支(万単位未満切り捨て)は、一般会計3千375万円。決算剰余による基金の繰入未実施額6千447万円となった。これにより、平成27年度の基金の最終取り崩し額1億8千767万円、積立額4億7千635万円となり、基金残高21億1千713万円、(土地開発基金除く)となり2億8千868万円の増となる。

特別会計の実質収支は、住宅会計1千1万円、国保会計27万円、介護保険会計

139万円、簡水会計320万円、後期高齢者会計259万円のそれぞれ黒字決算となっている。今後、監査委員の審査後、いずれも9月議会でご審議を願う予定であるので、よろしくようお願い申し上げます。



新日高村立図書館の落成「もち投げ」

平成28年第2回定例会

審議したこと

決まったこと

H28.6.9~6.16

6月議会では、同意(人事)1件、認定1件、条例2件、議案(請負契約・補正予算)7件、陳情2件、議員提出議案1件を議決。

人事

◎固定資産評価審査委員会委員に山岡茂男氏を選任することに同意した。



山岡茂男固定資産評価員

住所 日高村岩目地
1332番地3
生年月日 昭和24年3月2日
任期 平成28年6月25日
から31年6月24日
まで

認定

◎平成27年度仁淀川中央清掃事務組合歳入歳出決算認定について
仁淀川中央清掃事務組合規約第15条により、組合の解散に伴う決算の審査及び認定に係る事務は、日高村が行うと規定されていることから、平成28年3月31日をもって解散し、同日打ち切り決算となった仁淀川中央清掃事務組合の平成27年度歳入歳出決算について、認定を求めるもの。

【審査の結果】
不動産鑑定書による土地の評価。建物・備品の減価償却の積算。基金及び債権の出納簿及び貯金通帳の確認を行い、結果いずれも誤りはなし。

条例

◎日高村非常勤の特別職の職員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
用地関係・登記関係等に精通した、登記専門職員を新たに加えるもの。

◎日高村営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
現状では、入居者募集時に村外の者が応募できない状況になるので、村外からも広く募集するため一部条例を改めるもの。

予算

(△印は減額)

◎平成28年度日高村一般会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ1千947万5千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ38億198万円とするもの。

質疑

問 村長交際費の100万円の見舞金は、特別な理由があるのか。
答 東日本大震災時の見舞金と同様に熊本大震災の見舞金として充てるものである。

◎平成28年度日高村民健康保険特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出それぞれ74万8千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ8億1千734万8千円とするもの。

◎平成28年度日高村簡易水道特別会計補正予算(第1号)
歳出予算を2億1千965万6千円と定め、節区分を組み替えるもの。

◎平成28年度日高村介護保険特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ341万3千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ6億9千685万3千円とするもの。

◎平成28年度日高村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
 歳入歳出それぞれ149万1千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ7千762万9千円とするもの。

その他

◎村道石田渋川線(札場橋下部工)工事の請負契約(第2回変更)について
 工事費の増額並びに完成期限を平成28年6月30日から平成28年7月31日に改めるもの。

◎旧仁淀川中央清掃事務組合清掃工場解体工事の請負契約締結について
 請負契約締結の議決を求めるもの。

質疑

問 5社JV(共同企業体)で入札ということで、落札額8千600万円くらいということだが、入札額の最高額と3番手の入札額

を聞きたい。
 答 最高額は1億を少し超えていた。3番手については、落札者和其他の3業者の差が3万円くらいである。



解体される(旧)仁淀川中央清掃事務組合清掃工場

**決まったこと
 請願・陳情**

◎(継続分)人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を定める陳情

提出者Ⅱ 在日本大韓民国団
 高知県地方本部
 団長 鄭慶文

◎「給食費の無償化」を求める意見書採択の陳情

提出者Ⅱ 高知県教職員組合
 執行委員長
 石川 真人

平成28年度6月議会
議員提出議案

◎「給食費の無償化」を求める意見書案

提出議員 森下雅文

私の意思表明

6月第2回定例会

○賛否の分かれた議案

○：賛成

●：反対

議案	氏名	戸梶章	矢野孝明	森下芳文	横山泰昌	壬生豊秀	野村重夫	森下雅文	岡本光男	西川龍子	尾崎政廣 議長	結果

※賛否の分かれた議案は全て掲載していますが、全会一致の議案につきましては紙面容量によりまして省略しています。

（6月第2回定例会 全会一致 14件）

※議長は、議決に加わらないが、賛成、反対が同数となったときは、採決権の行使をします。



閉会中の委員会活動報告

総務常任委員会



委員長 森下雅文

5月25日(水) 午前9時
より

森下総務課長より

3月議会以降の主な行事等について、説明を受けた。今議会に提案予定の、人事案1件、認定1件、議案4件、補正予算案5件の議案に関し、報告を受けた。これらに関し、委員から若干の質疑があった。

川村住民課長より

6月下旬から12月にかけて実施する、村内家屋の全棟調査について、航空写真により確認された家屋と、

照合の状況について報告を受けた。

片岡教育長より

村の課税台帳との突合を、公道から目視により行うとの説明を受けた。
現在実施している登記簿情報と課税台帳、及び航空写真による情報との、机上

新図書館完成に伴う報告を受けた。7月16日(土)午前9時30分から神事・オープニングセレモニーを行う。開館は翌17日(日)からの予定。



新図書館落成(戸梶村長の式辞)

経済建設厚生

常任委員会



委員長 壬生豊秀

5月26日(木) 午後3時
30分より

藤田産業環境課長より

1. 仁淀川中央清掃事務組合については、解散手続きが全て完了。3月31日には基金等の財産処分が行われ、予算に基づき基金への積み立てをする。
清掃工場の解体工事については、6月1日に入札予定で準備をしている。

2. 粗大ごみの福祉収集は、高齢者・障害者等を対象として、申請書に必要事項を記入し村で確認の上、対象となれば村の委託業者により、玄関先から収集す

る計画である。

大川内建設課長

1. 江尻地区での「かわまちづくり」事業は、村と国土交通省で事業の実施主体、整備後の維持管理主体について協議を行い、取りまとめをした。

概算事業費は、2億1千万円。うち日高村が1億1千万円。平成28年度は、国土交通省による計画地の竹林等の伐採と基盤整備を実施する予定。

2. 国道33号日下橋交差点改良事業。平成28年度は、左岸の基礎工事に着手する予定で、工事による影響の恐れがある建物等については、事前調査を実施する。
以上の報告を受けた。

日高村振興対策 特別委員会



委員長 岡本光男

5月26日(木)・午後1時30分より

藤田産業環境課長より

村の駅ひだかの平成27年度決算は、直販所の売上総額は、1億9千717万5千168円で、レジ通過来客数は19万2千515人。1日の平均売上額は54万3千182円、来客数530人、客単価1千24円であった。平成27年度の目標を大きく達成することができた。

大きな要因としては、オムライス街道が引き続き好調で、特産のトマトの宣伝もされ日高のトマトがおいしいと高知市内等から大勢の方にお越しいただいた。また、高知西バイパスの開通の効果やマスコミ等の報

道によるものと考ええる。

大川内建設課長より

福良団地2棟の募集を行った。入居者は、子育て世帯の方である。

本年度は、鍛冶屋に2棟の建設を計画しており、早期の発注をしたい。

森下参事兼検査監より

当初予算で社会資本整備総合交付金2千549万2千円を計上し、国に交付していたが1千557万8千円の減額となった。これの補填財源

については、エコ振興策として9千115万8千円が、1億107万2千円で入金される。

片岡教育長より

図書館建設は予定どおり竣工し、開館に向けて移転準備を行っている。

竣工後、5月20日より最終の隣接家屋への影響調査を実施している。

また、新図書館の愛称を募集し、6月内に選考を行い決定したい。

日高村治水対策 特別委員会



委員長 戸梶 章

5月25日(水)・午前11時より

大川内建設課長より

1. 国土交通省より

①今年3月のヒ素検出問題は、表層部の13地点で追加調査を実施し、ヒ素及び鉛の値は、直接摂取しても健康被害を生じさせない値であった。

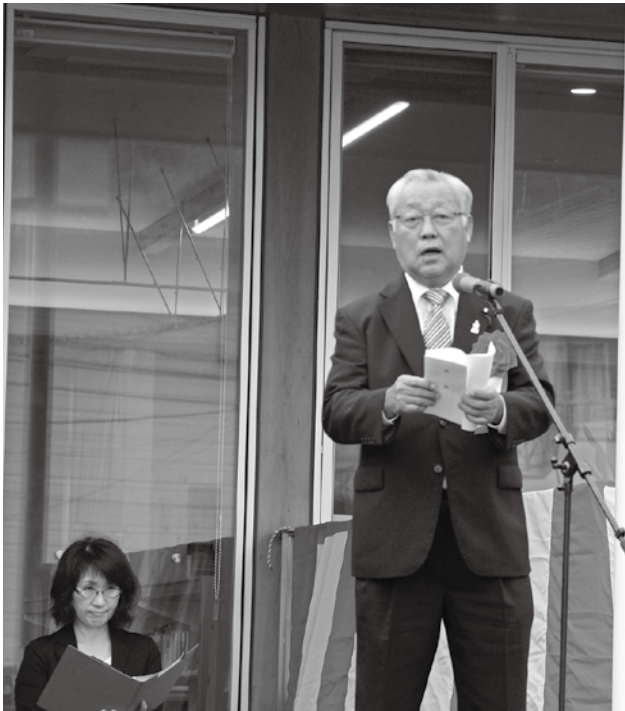
②新放水路の斜坑位置を決めるための測量業務等について、4月20日、田福と長崎自治会及び地権者に説明を行った。新放水路のルート案は、いの町大内地区と日高村においてそれぞれ説明会を開く。

2. 高知県議会産業振興土木委員会への要望

①日下川の未改修区間は、床上浸水対策特別緊急事業に遅れることなく改修を実施すること。当面は草木等が繁茂し流下能力が低い箇所は、伐採し流下能力を高めること。

②新放水路の通水に合わせ、日下橋周辺における家屋等への影響を調査し、適切な対策を行うこと。

③派川日下川放水路は、完成後55年が経過しており、定期的な点検と維持管理によって長寿命化を図ること。



新図書館落成 (尾崎議長の祝辞)



森下芳文議員

一般質問に5氏が立つ

総合治水条例 規制強化の特区で

質問 総合治水条例、方向性、可能性を村長はどのように考えているか。

答弁 戸梶村長 全国的にも例もあるので議会の意見も聞きながら進めていく。

質問 条例と法律との優位性の問題で整合性をどのように考えるか。

答弁 戸梶村長 法を越える規制はできない。特区制度自体、規制緩和が主眼になっており、規制強化の概念がない。努力義務という方法でうたい込むことはできない。

質問 日高村のような浸水常襲地でこそ、規制強化の特区に道を開かせるべきではないか。村長の見解を問う。

答弁 戸梶村長 村は浸水地域であり、家を建築する時には、1

階部分を駐車場にといた奨励・警告をする。また、努力義務として埋め立て規模と同等の遊水池を設ける等も考えられる。非常に悩ましい問題だ。

新放水路の 進捗状況は

質問 新放水路の進捗状況を聞く。

答弁 大川内建設課長 ルート案の説明がされたが、今後日下川浸水対策調整会議を開催してルート決定となり、詳細設計に入る。用地関係は、呑口部分の用地調査はほぼ終了している。残土処理場は、間もなく契約となる。

質問 護岸対策は万全か。

答弁 大川内建設課長 県の認識は改まったか。機会あるごと、県の方に、日高村は軟弱地盤ということを考慮して設計に反映させるよう要望している。

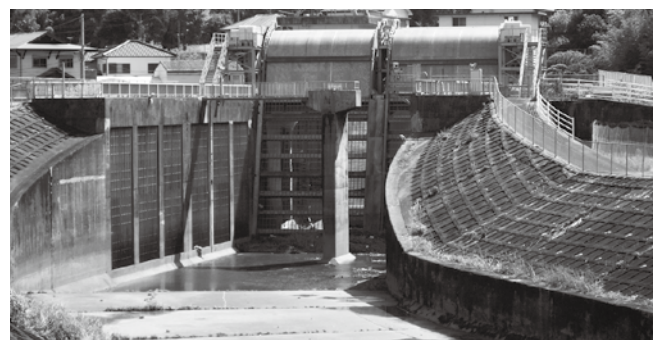
除塵機の設置は 必然 失敗を繰り返すな

質問 国交省は、除塵機を取り付けるが流木対策は考えていない。

それは困る。50年災害を想定すれば、流木の流出は想定しておくべきことで、当初言われたダムの流木対策のように口を開くなど、除塵機が過重負荷によって停止することのない対策が必要。

国交省は除塵機が停止しても、排水機能はゼロにはなっていないかつたと弁解を繰り返しているが、除塵機停止と浸水面積の相関関係は否定できず、再度の除塵機停止という失敗を繰り返してはならない。対策を聞く。

答弁 大川内建設課長 概略設計の段階では除塵機を設置せずダム方式のネットによって防御する話があった。十分な検討をお願いしていたが、現在は除塵機



現在の日下川放水路

の設計について検討しているとのことだ。二段構えも含めて、除塵機対策を申し入れている。

議会の様子を 各家庭に届ける

質問 光ケーブル網を利用して、議会内容を各家庭に流しては。村民からの要望もあるが答える考えはあるか。

答弁 戸梶村長 議会の判断にゆだねる。

震災対策への取り組みを



森下雅文議員

質問 県の南海トラフ地震対策第3期行動計画案に、どのように対応するか。

答弁 森下総務課長

耐震化について、県補助金対象拡大に対応できるように要綱を改正した。避難所運営マニュアルは、今年度能津地区を対象に作成する。

支援ルートの確保のために、国道沿いの16棟の耐震診断改修費を予算化した。応急機能配置計画の策定を予定。防災学習会等を引き続き実施していく。

質問 タイムライン・BCPの策定は。

答弁 森下総務課長

タイムラインについては、今年度策定を計画。BCPについては、来年度以降検討したい。

質問 指定避難所での食糧等の備蓄、電源、水源の確保という点で課題はないか。ソーラーによる避難所への誘導灯を設置する考えはないか。

答弁 森下総務課長

避難所ごとに当座の食料、光源等を配備している。案内板等と合わせ誘導灯も検討していきたい。

役場庁舎の改築について

質問 重要案件であり、平成31年度までには何とかしたいとのことであったが、耐震化という選択もあり得るか。

答弁 戸梶村長

厳しい財政状況から耐震化も含め、副村長をリーダーに今年度中に方向性を定める。

質問 庁舎を改築するとなれば、西側の村道を2車線化にと要望があるが。

答弁 大川内建設課長

以前から要望されており、庁舎建設と合わせて

検討したい。

沖名入り口の県道と踏切の改良を

質問 新放水トンネルの残土搬出もあり、安全上の懸念があるが見通しは。

答弁 大川内建設課長

入り口は橋梁工事が終わるまで、現状である。JR踏切は、隣接地の買収が困難となっているが、何とか解決をしたい。

答弁 戸梶村長

非常に大きな課題があるが、できる方法を模索していく。

河床洗掘対策について

質問 大橋周辺の河床洗掘対策に十分な配慮を願うが、村長の決意は。

答弁 戸梶村長

かねてよりの大きな課題であ



沖名入り口の踏切付近

り、関係機関へ要望を行ってきたが、日下川床上浸水対策特別緊急事業の中で、必要な対策を行なっていただけることになった。県と連携し取り組み。

消費税増税 村の財政は減になる



野村重夫議員

質問 日高村の平成26年度決算では地方消費税の配分は、5%のうちの1%に当たる5千800万円が配分されるが、このうちの75%の額が地方交付税から減額される。現行の消費税8%では、地方消費税の配分率は1.7%、10%

になれば、2.2%と配分率も増える。収入が増えても地方交付税が減額されると思うがどうか。
答弁 森下総務課長
交付税に算入されるので減となる。

質問 消費税増税で住民への影響はどうか。

答弁 川村住民課長

消費税が3%であった平成8年中の所得にかかると平成9年度の住民税の調定額は、1億6千943万円。消費税5%となった平成9年中の所得にかかると平成10年度の調定額は1億4千360万円と減になっている。

その後も減少傾向が続き、税源移譲が行われる前の平成18年度の調定額は1億2千525万円と減少し、平成9年度の調定額と比較すると4千417万円の調定減となっている。平成19年度には、所得税から住民税へ5%の税源移譲等が実施され、1億7千882万といった調定額は増となるが、その

後も減少傾向が続き、昨年の平成27年度の調定額は1億5千159万円となり、平成19年度と比較しても2千722万円の減少となっており、住民税の減少傾向は続いている。消費税が8%になる前の平成25年度の調定額と平成27年度の調定額を比較すると、平成27年度が3万8千円増となっている。

子どもの医療費 18歳まで無料化を

質問 2014年1月24日に総務省通知で、消費税の増加分は、社会保障に全て使うようにという通知だ。

日高村は、この地方消費税の財源を子どもの医療費18歳までの無料化に充てたらどうか。

答弁 森下総務課長
その財源は、現状では社会保障に充てる。

その他の質問事項

○都知事問題から学ぶ（裸の王様）。
○日高村史から学ぶ（平和運動）。

○命と健康を脅かす事態の打開（医療事故）。
○年金の改悪（株式投資での損失）



新日高村立図書館落成「紙風船飛ばし」

子育て環境整備で人口増を



西川龍子議員

質問 2060年の人口試算で村は、5千47人の33・9%減の3千60人とある。少子高齢社会の中、歯止め対策は簡単ではない。

国・県と連携し雇用創出、移住定住促進、結婚、妊娠、出産、子育て支援、住民の健康と長寿対策、村の最重要課題の浸水対策、国道の問題等の諸問題に対し対応してきた。
今後は、加速度的対応が重要となる。先の調査結果で、第1子は増加したが、第2子以降は減少

したとある。これは教育費や子育てへの負担感、仕事との両立等を考えた結果ではと結論付けていた。第2子からの保育料無料化で人口増をと思うが。

答弁 戸梶村長

子育て環境問題プラス移住のためには、住みやすい施設が重要であり、子育てしやすい環境づくりも村を選んでもらえる大きな要素になると思う。

保育・小・中の住環境、学校環境、幼児環境等 トータルの判断の中で、村を選んでもらえる仕組みづくりが必要と思う。
限られた子育て予算の中で、何が一番効果的かお母さん方の現状も見据えながら、本年度内に方向づけたいと考えてい

る。

高齢者の詐欺被害に 対応策を

質問 高知市で高知大丸を名乗る男女に、80歳女性2人が合計で約435万円をキャッシュカードから引き出される被害に遭った。今年4月以降で3件。最近では、電話による新たな手口の詐欺がでてきた。高齢者の被害防止策、意識向上策を先の議会で要望してきたが、どのようになっているか。

答弁 藤田産業環境課長

特殊詐欺防止啓発グッズのシールは、土佐警察署の分署で7月末までに作成していただける。それ以降に、村内75歳以上の独居高齢者431世帯を対象に、配布方法等を早急に検討する。

耐震診断費・設計費・改修費に上乗せを

質問 従来の耐震基準は、

1回の激震しか考えておらず、熊本地震での連続した震度7は想定外とのことで、国交省では今後の耐震設計に生かすため、被災家屋の建築時期と被害状況の調査が不可欠とし、調査会議で耐震基準について結論付けていくことになった。

怖いのは、自分の家とある。1980年以前の建築家屋を対象に、耐震診断費・設計費・改修費に対し、現在の国、県からの補助金が92万5千円。1戸建て住宅の平均耐震改修費は200万円弱。熊本地震以降、各自治体では、補助金の上乗せを行い、耐震改修を促進する地震対策が多い。日高村では、液状化対策も必要と思うが。

答弁 森下総務課長

本年度、住民課で全棟調査を行う予定となっており、調査時に耐震化のチラシを配布

する。

補助金の上乗せ部分は、県の市町村緊急支援事業を活用する。今後補助金の上乗せを研究検討していく。耐震診断も0.7以上の耐震化率でも段階的に改修費の補助がある。村でも要綱等の改正もしており対応できる。液状化対策については、土地計画図等が、現在、千本杉の箇所までの資料はあるが、日高村側は、まだできていないので資料等ができれば、液状化の可能性が分かる防災マップ等で示す。



特殊詐欺防止啓発グッズ



戸梶 章議員

質問 約38kmの日下川流域内の治水問題を単純に示せば、「流域内に降った雨の総量」引く「流域内の全ての治水施設（神母

300有余年の治水問題解消へ!!

樋門を含む）による総処理水量は「村内に溜まった水の総量」で示される。さらに治水に関わる防災や減災への鍵は、村内のある時点の浸水状況から、どの程度の雨がどれだけの時間降れば、どこまでの範囲や高さが水没するのかを早く正確に予測するべきであり、これらが可能な浸水予測システム等（仮称）をぜひ構築するべきだと考えるが。

答弁 大川内建設課長

四国ではレーダーによる降雨観測の高度化により250mメッシュで1分間隔での雨量観測が、平成28年7月上旬より開始されることを確認している。また、5月30日に公表された10mメッシュで1センチ単位の精度が得られる想定浸水区域に関するデータを国土交通省から頂ける予定であり、今後はこれらを活用し、より正確な浸水予測が可能となれば、避難行動を行う上で非常に大切なこ

答弁 戸梶村長

とであると考えている。本当に避難行動を起こす上では、浸水予測システムの構築が有効と考えられており、国土交通省と国土技術政策総合研究所では、水災害の監視予測の高度化などが進められており、「CバンドMPレーダー」による降雨観測のほか「リアルタイム浸水把握技術」等の活用、分布型洪水予測モデルにより、中小河川も含め流域全体を対象とした洪水状況の予測が可能となる。



平成26年台風12号の浸水状況

より良い村創りを目指し!

ている。

質問 住民からの請願や要望内容等については、受け付け内容や対応済み結果等について、可能な限り全職員で情報を共有するべきだと考えるが。

答弁 谷本副村長

各担当課で対応し、複数課に及ぶ場合には幹部会を通じ情報を共有する仕組みになっているが、

可能な限り多くの職員が情報を共有できるように幹部会で検討を進めたい。

質問 平成28年熊本地震後に南阿蘇村に派遣させた保健師の方からは、貴重な実体験を今後の地震等に生かせられる資料等は得られたか。

答弁 松岡健康福祉課長

報告書により派遣地域の被害状況や活動内容、職員が体験し感じた課題や避難所での健康課題等も細かく挙げ、今後の南海トラフ地震に向けて日高村が取り組むべき課題や今後の訓練、指揮命令系統の必要性等について報告を受けている。今回は県の要請で参加したため、今後の意見交換会等については、他の保健師も参加し少しでも多く日高村に反映したい。

議
会
日
誌

- 4 / 23 第1回日下川改修
期成同盟会議
議長・森下(雅)・
壬生・戸梶・森下
(芳)・矢野

13 全国町村議会議長
会理事会・町村議
会議員共済会理事
会・全国町村議
議員互助会理事会
議長
- 26 例月現金出納検査
(芳)・矢野
野村
議長

16 道路整備促進期成
同盟会高知県地方
協議会総会・道路
整備促進高知県大
会 議長
- 27 高知県消防大会
議長

18 高岡郡監査委員協
議会 野村
議長
- 28 公営住宅入居者選
考委員会 議長・
森下(雅)・壬生

19 高知県鉄道高速化
促進期成同盟会
設立総会 議長
高幡町村議会議長
会総会 議長
- 5 / 9 第4回緊急雇用創
出臨時特例基金事
業調査特別委員会
森下(雅)・西
川・壬生・森下
(芳)・戸梶・
議長

20 高知県町村等監査
委員協議会定期総
会及び研修会 野村
議長
- 10 国道33号整備促進
期成同盟会高知県
協議会総会 議長
農業委員会 壬生

23 日高村少年補導育
成センター運営委
員会
議長・森下(雅)
越知・佐川・日高
シルバー人材セン
ター定時総会 議長
- 12 農業委員会 壬生

24 例月現金出納検査
野村
議長
- 18 高岡郡監査委員協
議会 野村
議長

25 総務常任委員会
森下(雅)・森
下(芳)・野
村・横山・議長
治水対策特別委員
会 戸梶・森下
(雅)・壬生・森
下(芳)・矢野・
議長
- 19 高知県鉄道高速化
促進期成同盟会
設立総会 議長
高幡町村議会議長
会総会 議長

26 高知高知幕末維新
博設立第1回総会
福祉館運営審議会
議長
- 18 高岡郡監査委員協
議会 野村
議長

27 国道33号整備促進
期成同盟会総会
議長
- 23 高知県市町村振興
協会第1回理事會
議長

30 / 31 全国町村議会議
長・副議長研修會
議長・副議長
- 23 高知県市町村振興
協会第1回理事會
議長

6 / 1 / 2 全国町村議会議長
会理事会・共済
会理事会・互助
会理事會・議員
会館理事會・都
道府県會
議長
- 23 高知県市町村振興
協会第1回理事會
議長

3 議會議運管委員
會
森下(雅)・壬
生・西川・横山・
森下(芳)・議長
- 23 高知県市町村振興
協会第1回理事會
議長

2 日高村障害者福祉
大會 副議長
- 23 高知県市町村振興
協会第1回理事會
議長

11 第36回日高村ふく
しふれ愛運動會
議長
- 23 高知県市町村振興
協会第1回理事會
議長

10 農業委員会 壬生
- 23 高知県市町村振興
協会第1回理事會
議長

6 仁淀川改修期成同
盟通常総会 議長



岡山県町村議会 議長会来村

7月6日(水)に岡山県町村議会議長会草加信義会長(和気町議会議長)並びに各町村議会議長・議員(和気町議会・早島町議会・里庄町議会・美咲町議会・吉備中央町議会)12人が、能津本村にあるエコサイクルセンターと村の駅ひだかの行政視察研修に来村。



エコサイクルセンターでの研修

午後1時に役場に到着と同時にエコサイクルセンターに向かい、尾崎議長の歓迎の挨拶を行い、続いて前岡山県町村議会議長会小池宏治会長の挨拶を受け研修を始める。
西尾専務理事から施設の概要等の説明を受け、施設の視察を行った。
エコサイクルセンターの研修終了後、村の駅ひだかに向かい研修を行った。
村の駅では、朝日駅長・

高野(観光担当)・藤田産業環境課長から施設の概要・運営等の説明を行った。
両研修では多くのご質問等を受け、予定時間をオーバーする有意義な意見交換となった。
また、午後5時30分よりレストラン高知において、村議会との交流会に戸梶村長・藤田産業環境課長の参加をいただき、盛会のうち閉会となった。



村の駅ひだかでの研修

編集後記

平成28年5月31日付の高知新聞に、高知県内の過去最大の降雨実績などを基に設定した「48時間の総雨量が904㎜」があった場合、仁淀川が氾濫し高知市、土佐市、いの町、佐川町、日高村の5市町村で約4千800万㎡が浸水し、このうち家屋倒壊の恐れがあるという「倒壊区域」は約700万㎡にも達し、いの町役場や日高村役場の周辺も当然含まれ、この場合に想定される日下川流域内での浸水の深さは日高村岩目地の12・8mが最大で、10mを超える浸水域も広範囲となっている。

一方、先日の国土交通省による新日下川放水ルートの説明会等でも、国、高知県、日高村が連携し、ハードとソフト面が一体となった総合的な内水対策を進めることにより、平成26年の台風12号クラスによる床上

浸水被害の解消を目指すとともに、それらの機能を維持する整備目標を掲げております。

したがって、「48時間で904㎜の総雨量」を村民が意識すれば、村内の全ての治水処理施設の能力にはおのずと限界があります。

治水問題に関わる災害を減らすには、村内全域の浸水状況をより早く、より正確に予測できるシステムを構築し、可能な限り早く正確な浸水状況を村民に知らせることで

これらのシステムについては、国土交通省による「CバンドMPレーザーによる降雨観測」と「リアルタイム浸水把握位置図」や「分佈型洪水予測モデル」等を活用した、日高村独自の「日下川流域浸水予測システム（仮称）」を平成29年度内に完成させていただき「300有余年もの日高村の治水問題」にも一定のめどがたえられるように、村内の有志の方々も含め、皆で頑張っていきたいと思います。



6月26日(日)の村内一斉清掃

次回議会は、9月8日(木)10時に開会の予定です。
お気軽に、傍聴にお越しください。

議会広報発行調査特別委員会へのご意見・ご提言を、よろしくお願い申し上げます。

発行責任者

議長 尾崎 政廣

議会広報発行調査特別委員会

- 委員長 西川 龍子
- 副委員長 戸梶 章
- 委員 岡本 光男
- 委員 野村 重夫
- 委員 森下 芳文

「日高村議会だより」は、資源保護のため再生紙を使用しています。